

編集後記

ご覧のように、本号は総説1篇、原著12篇、臨床5篇、計18篇というかつて類をみない篇数となりました。このように多数の論文が投稿されると、年3回の発行は大丈夫だろうかと危ぶんでいたのが嘘のようで、年4回発行も夢ではないような気がしますが、あまり喜べないのは18篇のうち8篇は一つの講座から投稿されたもので、それを除くと論文数はそれほどには多くないという点です。今回のことが嬉喜びにならぬよう次回以降の先生方のなお一層のご努力を期待しております。

実を申しますと、今回8篇の論文が掲載された歯周治療学講座からはさらに原著論文4篇、合計12篇がほぼ同時に投稿されていたのですが、一号に掲載される一講座の論文数があまり多いのは、体裁も悪く、またこの4篇は第2報、第3報であったので、編集会議で討議した結果次号に回すことにしました。先生方も研究データはあまり寝かせておかないで、適宜論文にして沢山の論文を一度に投稿することのないようお願いいたします。

本号のいま一つの特徴は、英語で書かれた論文が6篇も掲載されているという点です。今までで一番多かったのが第5巻2号の2篇ですから、本号の英文論文数の多いことが分かります。ただし、本号は全体の論文数も多いのであまり目立ちません。ところで、それに関連してお願いしたいのは、英語で書かれる論文については、抄録以外は添削せず原文のまま掲載することにしていきますので、十分英文を吟味して、出来得れば外人に見てもらってから投稿してほしいという点です。和文原稿の英文抄録は編集子も目を通してありますが、我流の英語のまま投稿しておられる方がかなりおられます。こちらは本学の外人教師に添削してもらおうので我流の英語のまま投稿されても差し支えないのですが、英文原稿の方はその過程を取りませんのでこのようなお願いをする次第です。

(野村 浩道)

松 本 歯 学 第12巻 第3号 (非売品)

1986年12月25日 印刷 1986年12月31日 発行

編集兼発行者 加 藤 倉 三

発 行 所 松本歯科大学学会

399-07 塩尻市広丘郷原1780 電話 0263-52-3100

印 刷 所 電算印刷株式会社

390 松本市筑摩3270 電話 0263-25-4329